

飲酒運転撲滅特別賞

事故を減らすために私達に出来る事

宝城中学校 1年 末次 葵

福岡県で、2021年に発生した交通事故の件数は、2万66件にのぼります。私は、この数を見て、福岡県だけでこんなにたくさん事故があるんだと、とってもびっくりしました。私は、習い事の試合のために、海の中道大橋をよく通ります。私はそこを通るたびに、2006年に起きた飲酒運転での事故の話を、よく母や父から聞きます。その事故は、福岡市東区の海の中道大橋で、家族5人が乗った車が、飲酒運転の車に追突されて、幼い兄弟3人の命が奪われた事故です。私は、この事故の話を聞いて、たった1人の危ない行動から、何も関係のない家族がバラバラにされる事を想像すると、とても苦しい気持ちになります。この事故が起きたことで、子どもを亡くされた親は悲しい日々が続き、事故を起こした方は、反省の日々が続きます。そう考えると交通事故は、事故が発生した一瞬も苦しいけれど、その後の生活にも大きく影響してくることが分かります。だから交通事故というものはとても怖いな、と思いました。このようなことをなくすためには、飲酒運転だけでなく、日々交通ルールを守り、思いやりを持って生活する必要があると思います。私も、まだ小さかった時に道に飛び出し、車にはねられたことがあります。飛び出した自分も悪いけれど、スピードを出しすぎていた運転者もいけないので、おたがいがルールを守り、気を遣っていかないと安全は成り立たないこともあります。交通事故を防止するために、自動車や自転車の運転者、歩行者が、それぞれ相手の立場に配慮し、思いやりの気持ちをもって行動する必要があると思います。私も中学生となり自転車通行をする中で、自分自身がしっかりと自覚を持ち、交通ルールを守って気をつけていきたいと思っています。